

原子力学会標準委員会 リスク専門部会
第 57 回レベル 2PRA 分科会審議

日時 2025 年 10 月 17 日（金）13:30-15:30

場所 Web 会議

出席者

委員：濱崎（主査）、中村（康）（副主査）、佐藤（幹事）、山越（幹事）、廣川（幹事）、池田、宇井、小野田、竹次、成川、羽佐田、松山、三浦、美原、吉川 15 名出席

（欠席）石川、中村（真）、原口、守田、山路

常時参加者：小城、大沼、友澤、山田、橋本、上野、沼田、田邊、福原

（欠席）岡本、阿部

議事：（発言者省略）

議事に先立ち、定足数及び配布資料の確認を行った。

議事 1 前回議事録の確認

＜要旨＞

廣川幹事より、資料 P10SC57-1 に基づき、前回議事録要旨（案）について説明があった。
コメント等は特になく、これにて正式発行する。

議事 2 人事案件

＜要旨＞

山越幹事より、資料 P10SC57-2 に基づいて説明がなされた。関根氏が常時参加者解除、
沼田氏、田邊氏、福原氏が常時参加者登録となった。

議事 3 上位委員会対応について

＜要旨＞

山越幹事より、資料 P10SC57-3 に基づき、上位委員会（標準委員会、リスク専門部会）
対応について説明された。レベル 1PRA 旧実施基準廃止、地震リスク評価利活用事例集、
津波リスク評価標準、秋の大会企画セッション、用語辞典、JIWG の活動状況について紹介
された。

これに対して以下の議論があった。

- 原子力学会標準の廃止規定はないため、廃止する場合には、その場その場で検討する
ことになる。以前に公衆審査まで行った事例があるが、本案件については、次回の標準委員会でどのようにするのかを決める。現標準がレベル 1PRA 旧標準を引用している場合があるが、極力手間のかからない方法で対応する。

- 用語辞典については、リスク専門部会で把握している用語と現状のレベル 2PRA 標準に記載されている用語を比較し、リスク専門部会側の用語を修正した。現状のレベル 2PRA 標準側の用語へのフィードバックはない。

議事4 レベル 2PRA 標準の構成について・階層化作業の進め方

<要旨>

廣川幹事より、資料 P10SC57-4 に基づき、レベル 2PRA 標準の構成と今後の作業の分担案について説明がなされた。

これに対して以下の議論があった。

- 基準に項目があっても、指針に対応するものがない場合がある。このような場合、レベル 1PRA 標準では、細分箇条の繰り上げを許容し、対応する基準の細分箇条を指針のタイトルに記載している。レベル 2PRA 標準でもそれに合わせる。
- ある細分箇条の下位の細分箇条が 1 つしかない場合、上位の細分箇条に統合することが提案された。しかし、上位の細分箇条の内容も記載する必要があることから、このような場合でも、上位の細分箇条と下位の細分箇条を分離した形で記載する。
- 指針において、a)、b)、・・・と項目を並べているところがある。これはレベル 1PRA 標準において、細分箇条の桁数が大きくなり過ぎないようにする配慮のためである。一方、「規格票の様式及び作成方法」(JIS Z8301:2019) では、付番の例として、1→1.1 →1.1.1 とされており、a)、b)、・・・のように付番することは推奨されていないよう読みめる。したがって、指針においては、細分箇条の桁数が大きくなるが、1→1.1→1.1.1 →・・・のように付番することとする。

議事5 POS の基準案・指針案

<要旨>

佐藤幹事、山越幹事から資料 P10SC57-5 に基づき、レベル 2PRA 標準における POS の基準案及び指針案について説明がなされた。

これに対して以下の議論があった。

- レベル 2PRA 標準における POS の基準案及び指針案について、年内を目途にレビューし、分科会で審議する。

議事6 今後の進め方

<要旨>

山越幹事より、P10SC57-6 に基づき、今後のスケジュールについて説明があった。

次回分科会は、2026/1/22 (木) 13:30～17:00 に開催する。

以上